

授賞式・おめでとう

～税に関する絵はがきコンクール～

第15回税に関する絵はがきコンクールで、入賞があり、北薩法人会の方と、出水税務署の方が来校され、校長室で授賞式を行いました。今回は、学校賞もいただきました。



北薩法人会女性部会長賞 6年 黒坂妃偉
出水税務署長賞 6年 大漣翠月
入賞 6年 大漣麻友香
入賞 6年 遠矢冬海

参観ありがとうございました

～地域が育む「かごしまの教育」県民週間～

脇本小では、5・6・7日にフリー参観、9日に学習発表会、PTA教育講演会を実施しました。たくさんの保護者、地域の方に参観していただきありがとうございました。

フリー参観の期間に合わせて、トトロのへやの人形劇鑑賞も行いました。脇本校区の方の子供たちへの愛情を感じることができ、子供たちもとても喜んでいました。また、6年生は「協力隊OBと留学生授業」も行い、国際理解を深めました。



学習発表会は、今回、全学年音楽発表を行いました。どの学級も授業を中心に練習を重ね、発表をしました。PTA講演会は、NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会理事長の大川内良一先生に講演をいただきました。

阿久根の味覚を給食で満喫

～あくねグルメデー～

22日(金)の給食は、「あくねグルメデー」として阿久根の食材を使ったメニューが出されました。子供たちも、朝から「今日は華鶴



和牛だね」と楽しみにしていました。おかわりにもたくさん並んでいました。みんな「おいしい!」と、阿久根の食材に舌鼓を打ちました

練習の成果を発揮!

～阿久根市小学校陸上記録会～

100m 5年男子1位 馬場健斗
女子1位 高津青葉
6年男子3位 福浦遼
走り幅跳び5年男子2位 桐野泰斗
3位 黒坂幸真
6年男子2位 仮屋園颯介
3位 下塩見鳳忠
走り高跳び5年男子2位 馬場健斗
6年男子2位 福浦遼
3位 現王園蓮斗
60mハードル6年男子2位 仮屋園颯介
800m走 6年男子1位 下塩見鳳忠
400mリレー5年男子3位馬場・坂上・園田・早水
5年女子2位高津・野崎・檀柑・渡辺
6年女子3位大漣(翠)大漣(麻)早水・兒玉

12月・1月の主な行事予定

12月3日(火) 第4回学校運営協議会(折多小)
4日(水) 避難訓練(火災)
5日(木) バンビ号 色覚検査(1年希望者)
第2回校区青少年指導連絡協議会
9日(月) 学力検査①
10日(火) 学力検査②
11日(水) 持久走大会 学級PTA
PTA幹事会 学校保健委員会
14日(土) あいわの里訪問(5年山田楽)
家庭教育学級(1年保護者)
24日(火) 終業式
1月8日(水) 始業式
11日(土) 土曜授業 児童集会
17日(金) 学級PTA
19日(日) 校区子ども会駅伝大会
21日(火) 鹿児島学力・学習定着度調査1日目
22日(水) 鹿児島学力・学習定着度調査2日目
30日(木) 脇本小研究公開



※校内人権週間(12月2日～6日)

※キャリアパスポート記入(12月2日～6日)
保護者入力(12月9日～13日)

※学期末B校時設定週間(12月3日～17日)

※学期末5・6校時カット(11月18日～23日)

※いじめ問題を考える週間(1月8日～11日)

※学期始めB校時設定週間(1月9日)

※給食指導強調週間(1月9日～15日)

※2学期の教育相談旬間(1月31日～2月7日)

かしこく
なかよく
たくましく



脇本小ブログ

くるしお



児童数191人

12学級（令和6年11月1日現在）

VUCA（ブーカ）時代を生きる

校長 川原園 達司

デジタル技術の急速な進化、新型コロナウイルスによるパンデミックなど、近年はこれまでに経験したことのないような変化が起きています。もちろん、学校も例外ではなくGIGAスクール構想に基づく教育のICT化、感染症や熱中症の対策を踏まえた健康・安全管理、教職員の確保など様々な課題に臨機応変に対応することが求められています。

このような社会の変化、この先の時代は「Volatility（変動性）」「Uncertainty（不確実性）」「Complexity（複雑性）」「Ambiguity（曖昧性）」の頭文字をとって、「VUCA時代」と呼ばれることがあります。端的に言い換えるならば「目まぐるしく変化する予測困難な時代」と言えるでしょうか。

話は変わりますが、先月、6年生と一緒に熊本方面への修学旅行に行ってきました。一日目は5～6人のグループに分かれて事前に立てた計画を基に熊本市内を回る自主研修を行いました。また、二日目は荒尾市のグリーンランドでグループ活動を行いました。いずれの活動においても担任から伝えられているのは集合の時刻と場所、安全上の注意のみです。細かい行程や見学先で必要となる入館料や食事代、おみやげ代などは子供自身が考えます。私はこれまでも修学旅行の引率を経験したことがありますが、そのたびに子供たちの行動力（判断力）、たくましさに驚かされると同時に、なんとも言えないうれしさや爽快感を味わってきました。もちろん、脇本小学校の6年生も素晴らしかったです。地図を片手にお互いに話をしながら歩く姿、「12時までには熊本城に戻らないといけないよ。」「それなら、〇〇を先に回った方が時間に無駄がないよ。」「先にお昼ご飯を済ませて後からゆっくり回ろうよ。」と、行動しながら計画を立て直していく姿……。ある班では行こうと思っていたファストフード店が改装中のため入れないというハプニングが発生しましたが、違う店でテイクアウトするという方法で乗り切ったようです。

修学旅行の目的には、「見聞を広め、学習経験を豊かにすること」「集団行動の規律を学ぶこと」「他者と協力して親和を深めること」などがあります。私は、修学旅行をはじめとする学校行事を進めるに当たっては教師が目的を十分に理解し、事前・事中・事後の指導をしっかりと行うことが重要であると考えています。具体的には、子供たちと目的を共有し、成長を実感させ、できたことを価値づけることです。2学期は学校行事の多い学期です。その一つ一つを通して子供たちは確実に成長していると思います。まさに「為すことによって学ぶ」ことができているのではないのでしょうか。

VUCA時代を生きるためには「情報収集・活用力」「臨機応変な課題対応力」「迅速な意思決定力」「コミュニケーション力・人間関係構築力」などが必要となります。このような力を身に付けるためには座学だけではなく、豊かな体験が有効であることは言うまでもありません。今後も学校行事がVUCA時代を生きるための力を身に付けるひとつの手段となるよう、充実を図っていきたいと思います。

